

# つなげる

## 中学校と

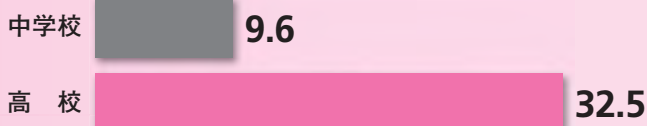
## 高校の指導

### 〈後編〉

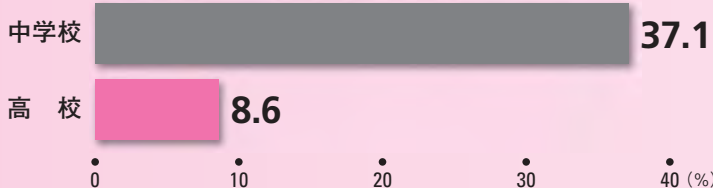
前号の6月号では、中学校と高校の違いと、克服すべき課題を調査結果と教師による座談会を基に整理した。今号では、教科指導をどのようにつなげたら良いか、現場教師の実践や研究者のインタビューを通して考える。

#### どのような授業を心掛けていますか？

##### ■ 教師主導の講義形式の授業



##### ■ グループ活動を取り入れた授業



注)「多くするように特に心がけている」の%  
出典 / Benesse 教育研究開発センター「第5回学習指導基本調査」(2010年)

中学校教師と高校教師では、  
授業方法に対する意識が大きく異なっている。

6月号から見えてきた、中高接続のポイント

ポイント1 中学校と高校がそれぞれの段階での「自立」の形を追求する

ポイント2 中学校までの学習歴を踏まえ、中高での教科指導の段差をなくす

中高での教科指導をスムーズにつなげるヒント

# 1 生徒の姿勢と教師の「かまえ」をつなげる

生徒の「学びへの向き合い方」をつなぐ

- ・ 解答を導くプロセスを重視して考えさせる【数学 P.6】
- ・ 生徒同士に教え合わせる【数学 P.6】
- ・ 最後まで粘り強く考えさせる【数学 P.6】

教師の「教科を通じて育てたい生徒像」をつなぐ

- ・ 抽象概念を理解させる【理科 P.9】
- ・ 文系の生徒にも理科の本質的な面白さを伝える【理科 P.9】
- ・ 中高の教師が授業で「読み取る力」と「批判的に読む力」をどう付けるか話し合う【国語 P.11】



# 2 「習得・活用・探究」の観点でつなげる

【インタビュー P.13】



**授業方法**

- ・ 授業で、教科と社会とのつながりを意識させる
- ・ グループ学習を取り入れることで授業内容の定着度を高める
- ・ 家庭で学習させたことを確認する時間を授業で設ける

**家庭学習**

- ・ 各教科で効果的な学習方法を具体的に指示する

東京大大学院教育学研究科長・教授 **市川伸一**